



先に行われた定期テストⅡでは、家庭学習の成果を存分に発揮しようと努めていました。この先は、新人大会、地域貢献活動、東華祭等が予定されています。ぜひ保護者、地域の皆様から生徒の活躍をご覧いただきたいと思ひます。そのために生徒には見通しをもって過ごし、自己実現を図ってほしいと願っています。

10月5日(土)は地域貢献活動・東新パワーFESTA

地域貢献活動について

(担当 小柳 翔太)

東新潟中学校区には、地域と学校が手を携えて「地域で子どもの成長を支えよう」とする土壌があります。地域や保護者のみなさんが、東新潟中学校とそこに通う生徒を大切に思い、日頃から見守り教育活動に協力してくださっています。

そんな温かい地域のために、私たちができることとして地域貢献活動「絆づくり」を行っています。地域貢献活動「絆づくり」のねらいは、次の3点です。

○校区内で地域貢献活動をすることで、地域を大切にすることを育む。

○学年、学級を超えた絆づくりとともに、地域の方、保護者との絆づくりの場とする。

○活動を振り返り、地域社会における中学生の立場について価値付けを行う。

地域のみなさんや保護者のみなさんと一緒に環境を整える活動を通じて、地域への愛着を深めるとともに、地域社会における自分たちの役割や自分たちにできることを改めて考えましょう。

東新パワーフェスタ2024について

(担当 坂井 浩紀)

『東新パワーフェスタ 2024』は、生徒たちの「自分たちが主体となり、少しでも楽しい学校生活を送りたい」という想いから、生徒たちの声によって発足した東新史上初の行事です。当日は、東新潟中学校区の小学生や地域の人向けに、リアル脱出ゲームやギネス記録に挑戦など、各学級オリジナルの出し物を行います。先に行われた学活の授業では、生徒会中心に作成した企画書をもとに、各クラスでやりたい出し物を楽しそうに選んでいる姿が印象的でした。この行事を通して、学級での団結力を高めたり、主体性や協働性を培ったりしてもらいたいと思ひます。全16学級(各学年5学級+特支)で行うゼロから作り上げた圧巻のイベントになること間違いなしです。保護者の皆様にも、生徒たちが学校の中で輝く姿を是非ご覧いただきたいと思ひます。



令和6年度 第55回 新潟県中学校総合体育大会 結果

陸上競技

【共通 110mH】	長谷川蒼人	16秒30	13位
【共通 走高跳】	長谷川蒼人	1m60	14位
【共通女子 砲丸投】	藤村 結月	10m22	7位
【共通女子 棒高跳】	曾我 真央	2m70	2位
	藤川 結絆	2m40	3位
	広沢 絢	2m40	3位
【共通4×100mR】	広沢 絢・曾我 真央・		
	澁谷 風香・鶴巻 心蘭	53秒83	25位

柔道

【女子個人】 渡邊愛心 第2位

一回戦 对小針中 勝

二回戦 対真野中 勝

準決勝 対長岡東中 勝

決勝 対新発田東中 負

バスケットボール 第3位 北信越大会出場

第一試合 対真野 63-46 勝

第二試合 対城西 59-45 勝

準決勝 対村松桜 59-38 負

順位決定戦 対魚沼北・東小千谷・広神・八海 62-38 負

第45回北信越中学校総合競技大会 結果

女子バスケットボール

一回戦 対錦城中（石川） 46-84 負

柔道

【女子個人】 渡邊愛心 第3位

一回戦 対出町中（富山） 勝

二回戦 対高尾台中（石川） 勝

準決勝 対佐久長聖中（長野） 負

美術部のみなさんが沼垂まつりに参加しました

8月16日（金）の沼垂まつりでは、美術部のみなさんが作品を沼垂白山神社に奉納しました。地域の方からご指導とご協力をいただき、夏休み中に部員総出で作品の制作に取り組みました。



学校・学年だよりの配付方法について

（アンケート）

学校だよりや学年だよりの連絡メールによる送付を検討しています。メール送付するデメリットとしては、「画像がネット上に流れる」ということがあります。載せる前に、ホームページに載せる時くらいの加工を施したいと考えております。また、皆様には第三者への画像の転送はご遠慮いただくようご協力をお願いします。以上のことをふまえて、たよりの送付方法についてのアンケートにご協力ください。右のQRコードを読み取り、9月30日までにご回答ください。アンケート結果を踏まえた今後のたより配付方法については、後期のスタートにはホームページのブログでお伝えする予定です。ご確認をよろしくお願いいたします。

PTA・育成協・学校職員も蒲原まつりの見回りに参加しました



←
（学校・学年だよりの配付方法アンケートQRコード）

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果について(令和6年4月18日実施)

1 調査の目的

「全国学力・学習状況調査」とは、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に、全国の国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年を対象に行われるものです。「国語」「数学」は毎年行われますが、「理科」「英語」の調査は3年に1回行われます。今年度東新潟中学校では、「国語」と「数学」の学力テストを行いました。

2 調査結果と考察

(1) 東新潟中学校調査結果

① 「国語」

・正答率は新潟県全体の平均よりも1%高く、全国平均よりも0.1%低かった。

② 「数学」

・正答率は新潟県全体の平均よりも1%低く、全国平均よりも3.5%低かった。

(2) 考察

【生徒質問用紙から】

生徒自身が自分自身の生活を振り返って回答した結果からは明るい結果が多くみられました。

例えば「2年生の時に受けた授業で、PC やタブレットなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか」という問いに対して、東新潟中学校生徒の「積極的に活用した」という回答は 96.6%でした。これは新潟県平均を 22.0%、全国平均を 32.2%も上回っています。さらにタブレットなどの ICT 機器を活用する利点として、「自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる」と挙げた生徒は東新潟中学校で 98.0%でした。これは新潟県平均を 13.0%、全国平均を 19.5%上回っています。

また「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てたり情報を集め整理したりして、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいますか」という問いに対して、本校生徒は 95.2%の肯定的回答がありました。これは新潟県平均を 5.4%、全国平均を 14.5%上回っています。「総合的な学習の時間」における探究的な学習活動に生徒の興味が向いていることを示しています。

さらに「国語の勉強が好きですか」に対する肯定的評価は、本校では 71.5%であり、新潟県平均を 8.0%、全国平均を 7.0%上回っています。「数学の勉強が好きですか」に対しては、肯定的評価をした本校生徒は 59.8%であり、新潟県平均を 3.1%、全国平均を 2.3%上回る結果となりました。

【国語】

「国語」は「知識・技能」をみる問題において「我が国の言語文化に関する事項」は 83.3%と高い正答率となりました。これは、「行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する」問題の正答率が 83.3%となったためです。普段の生活の中での習字に対する関心の高さがうかがえます。しかし、「短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する問題」では 46.2%と表現技法の名前や効果についての学習に課題がありました。

「思考力・判断力・表現力等」をみる問題においては、「話すこと・聞くこと」の正答率は 61.3% 「書くこと」の正答率 64.4%と高く、「読むこと」の正答率は 45.5%といずれも県平均を上回っています。特に「話すこと・聞くこと」に関する問題では、「話し合いの発言について説明したものとして適切なものを選択する」「話し合いの中で発言する際に指し示している資料の部分として適切な部分を○で囲む」という問題が高い正答率を示しています。総合発表会や日頃の話し合い活動の成果が表れていると思われます。また、無回答が 10%以上の問題は 1 問と少なく、意欲的に問題に取り組んだ生徒が多かったようです。課題としては「文章の全体と部分の関係に注目する」「文章を要約する」問題についての正答率が低かったことから、今後の対策として、説明的文章の例と意見や要旨について考える問題に挑戦すると良いと思います。

【数学】

「数学」は「数と式」「関数」「データの活用」に関する問題の正答率が新潟県の公立学校の平均正答率より若干下回りました。一方で、「図形」に関する問題の正答率は若干上回りました。総合的な平均正答率は 49.0%で全国平均の 52.5%を下回りました。「数と式」に関する問題では、「正の数と負の数の加法の計算」の正答率は 91.7%と高かったです。しかし、「偶数を、文字を用いて表現する問題」は 30.1%と低い結果となりました。また、「目的に応じて式を変形し、事柄を説明する問題」も 23.7%と課題が残りました。「関数」においては、「グラフを読み取る問題」が 85.3%と高かったのですが、「式やグラフを用いて事象を説明する問題」は 12.2%と多くの生徒が躓いていることがわかりました。「図形」の領域の、「回転移動についての問題」は、70.5%の高い正答率でした。「データの活用」の、「箱ひげ図の四分位範囲から正しい情報を読み取る」問題では 39.7%で全国平均を下回りました。

総合的に分析すると、基本的な知識や技能は全国に比較してもそれほど劣ってはいません。しかし、文字を用いて数学的な表現で事象を説明することや、資料を読み取って数学的な分析をするなど「思考・判断・表現」が必要となる応用力がこれからの課題と考えられます。

3 今後の方針

さらなる学力向上を目指して、東新潟中学校では、次のように取り組んでいきます。「国語」「数学」における弱点克服に向けて、各教科内で連携をとりながら授業を進めてまいります。また生徒がタブレットなどの ICT 端末を授業の中で活用することの良さについて実感していることから、生徒が今以上に授業に主体的に参加できるよう、学習活動の中におけるタブレット活用の仕方について研修を積んでまいりたいと思います。

各教科の魅力や面白さを授業の中で生徒が実感できるよう、今年度東新潟中学校では「学びを実感し、主体的に学ぶ生徒の育成～生徒の学習意欲を高める学習課題の提示、生徒にとって意味のある関わり合い活動の工夫～」をテーマに職員研修を行います。それぞれの教科に対して「好き」と答える生徒が増えていくよう努めてまいりたいと考えています。